

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 久保治雄(クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>E-mail : kubo-2013@rid2640.org

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2014年5月9日(金)第1613回

卓話 「私の食えない時代」

卓話者 徳田 稔 会員

今週の歌 「奉仕の理想」「さくら貝の歌」

「バースデイソング」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(5月度)

村上強志会員(1日) 坂田多英様(2日)

○結婚記念祝い(5月度)

新井茂文会員(2日) 城岡陽志会員(2日)

畑中一辰会員(2日) 綿谷伸一会員(9日)

濱口正義会員(15日)

前回の例会

2014年4月25日(金)第1612回

「テーブル会議」

今週の歌 「奉仕の理想」

「故郷(ふるさと)」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<4月25日(金)の出席報告>

会員数(会員31名・準会員1名) 32名

出席会員 23名

欠席会員 9名

ゲスト 1名

ビジター 1名

3月14日(金)の出席率 80.64%

次回の例会

2014年5月16日(金)第1614回

卓話 「私の食えない時代」

卓話者 藤永 誉 会員



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンD.バートン(ノーマン・ロータリークラブ)

テーブル会議

議題「ロータリーとは」

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,558、会員総数1,220,115人(2013年6月30日RI公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,280、会員数88,354人(2014年1月末現在)となっています。

(THE ROTARY-NO-TOMO より)

会長の時間

会長 城岡 陽志



今日は人間の器について考えてみたいと思います。

私も若いころ、もっと会社を発展させるため、経営書を読み漁りました。どの本も結論は、経営者の器以上に会社は大きくならないと、書いています。

ではどうすれば器を大きくできるかは、どの本にも書いていません。私なりの結論は器を大きくするためには、よく学び、行動する。特に人間学として徳性を養う学びが大切であると思います。

今なお地区の問題がごたごたしています。問題は仁徳の無い人や、リーダーシップのとれない人が、リーダーに選ばれたことが諸悪の根源だと思います。内閣でも問題を起こす不適格な大臣がたまに出ます。これは本人の責任でなく、選んだ人の任命責任です。

昔、松下幸之助さんが、次の社長に山下さんを選び14人抜きと世間を驚かせました。山下社長の会見で私が失敗すれば、私にも責任があるが、私を指名した松下幸之助さんにも、責任があると名セリフを吐きました。人を見る眼力も人間の器として、重要な要素と思います。

S A A 報告

和歌山城南RC 岡田 浩様 卓話にお招きいただきまして、ありがとうございます。
堺東南RC 武田耕道様 先々週は、ご支援有難うございました。心より感謝申し上げます。
山ノ内修一会員 岡本さん、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしています。

池田茂雄会員 岡本様、ようこそお越し下さいました。有難うございます。

城岡陽志会員 岡本様、忙しい中、堺迄お越しいただき、ありがとうございます。あと、ひと踏ん張りして頂き、早く地区正常にして下さい。応援します。

嶽盛和三会員 岡本様、武田様、ご来会ありがとうございます。

浦口さんご来会ありがとうございます。

徳田 稔会員 岡本様御苦勞様です。頑張ってください。

中田 学会員 岡本様ようこそ堺北RCへ。

坂田兼則会員 岡本様、よくおいで下さいました。

中川 澄会員 岡本様ようこそいらっしゃいました。本日はよろしく願いいたします。

塩見 守会員 岡本様ようこそ堺北RCにお越し下さいました。本日の卓話楽しみにしております。

藤永 誉会員 禁煙4日目です。一番辛い時は越えてしまったようです。

笹山悦夫会員 先日は、北輪会のみなさんありがとうございました。前半71、後半51の122でした。この間の奢りに対する戒めと努力への激励かなと思いました。天はやはり公平にして厳粛でした。

畑中一辰会員 北輪会コンペで準優勝でした。次回は優勝を目指してガンバります。

合 計 37,000円

今週の歌「さくら貝の歌」

美わしき(うるわしき)さくら貝ひとつ
去りゆける きみに捧げん
この貝は 去年(こぞ)の浜辺に
われひとり ひろいし貝よ



ロータリーの歴史

「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、

世界は、その業績によってロータリーを知るのです」



ポール・ハリス

ロータリーは、ある一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名前は、ポール・ハリス。シカゴで弁護士として働いていたハリスが、世界初のロータリークラブ(シカゴ・ロータリークラブ)を設立したのは、1905年2月23日のことです。ハリスは、多様な職業を持つ人びとが集まり、アイデアを交わし、生涯にわたる友情を培うことのできる場として、ロータリーを設立しました。「ロータリー」という名は、当時、各メンバーの職場を持ちまわりでミーティング場所としていたことに由来します。ハリスのビジョンから始まったロータリーは、現在120万人の会員を擁する組織へと発展しました。

ロータリーのコミットメント

「ロータリアン」と呼ばれるロータリー会員はこれまで、単なる歴史の傍観者としてではなく、歴史の一部となって活躍してきました。ロータリーには、創設時から現在まで変わらない、3つの特徴があります。

まずは、ロータリーの「国際性」です。創設後わずか16年の間に、ロータリークラブは6大陸へと広がりました。日本では1920年(大正9年)に初のロータリークラブ(東京ロータリークラブ)が設立されています。今日私たちは、さまざまな方法で世界が直面する諸問題に 대응するために、グローバルに活動しています。

2つ目の特徴は「粘り強さ」です。第二次世界大戦中、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、日本のロータリークラブは、ロータリーからの脱退を余儀なくされました。しかし、これらの国々のロータリアンは、リスクを承知で非公式にミーティングを続けました。戦後、ロータリーに復帰したこれらのクラブは、ロータリーのみならず、国の再建においても大きな役割を果たしました。

最後に、「奉仕へのコミットメント」です。1979年、ロータリーは、フィリピンで600万人の子どもたちにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ撲滅活動のきっかけとなりました。野生ポリオウイルスが存在する国(ポリオ常在国)の数は、1988年の125カ国から、2012年には3カ国にまで減少しました。これはまさに、ロータリーによる奉仕へのコミットメントを裏付けるものです。

22. 『日本ロータリーの精神伝統』 その1

今日は日本ロータリーの精神伝統についてお話しします。これは地区管理が始まる直前のエピソードであります。昭和3年に東京で第2回太平洋地域大会 Regional Conference が開かれました。Regional Conference というのは国際ロータリーが不定期に開催する大会であり、第1回はハワイのホノルル。第2回は昭和3年に東京。第3回は昭和10年にフィリピンのマニラで開催されています。これは、その当時の国際大会開催地から遠い地域である太平洋沿岸諸国のロータリアンの親睦と勉強のための大会であります。東京大会には10カ国から568名が参加しました。

ところで、この第2回太平洋地域大会 Regional Conference のホストクラブは東京ロータリークラブでありました。大会経費を試算してみますと約200万円は必要でありました。これは当時、大学卒の初任給が約60円でしたから大金であります。ところが、東京ロータリークラブは、ロータリアン個人としては、それぞれ実力百万石の金持ではありませんが、クラブとしては会費のみによってその経費を支弁するのが原則であり、ニコニコ箱その他の寄付を強制することは出来ません。したがって、クラブ自体には金はありません。しかも、現在のロータリーのようにロータリアンから大会経費として金を取り立てるなどという悪智恵は全くありません。

更に、米山さんなどは、金持ちだとは謂っても入ってくる金を全て世のため人のために使ってしまうから個人資産の蓄えもなく、任意の寄付も出来ません。

そこで、当時は団体奉仕の思考が未だ定着していませんでしたので、ロータリアン達は、漠然と個人奉仕を考えていたのであります。

したがって、どのようにしてこの大会経費を捻出すればよいのか？皆が鳩首協議をしているところへ後に至って日本の4代目ガバナーになる朝吹常吉さんが来ました。朝吹さんは、皆が困っているのを見て『私がその200万円を出しましょう。但し、一つだけ条件があります。私が金を出したことを金輪際口にしないこととあります』と言われたのであります。このようにして、朝吹さんのお陰で、太平洋地域大会は成功裏に幕を閉じることが出来、日本のロータリアンは面目を保つことが出来たのであります。これひとえに朝吹常吉の男気によるものであったと記録に残っているのであります。

では、朝吹さんは金を出したことを金輪際人に言うなと言ったのに何故世の中に知られることになったのか。それは、朝吹さんが亡くなられたお通夜の席で初めて当事者から皆に打ち明けられたのであります。

ところで、朝吹さんと米山さんとは、非常に対照的な金の使い方をした人でありました。米山さんは、入ってくる金を片っ端から世のため人のために使ってしまったが、朝吹さんは、平素はダムの水のように貯めておいて、ここぞという時にダムの水門を開くように一気に大金を使ったのであります。

しかし、二人に共通している点があります。それは、世のため人のために秘かに奉仕をして自分が金を出したことを決して人に言わなかったこととあります。この陰徳陽報の教え即ち、隠れたる徳行はいずれ明らかなる報いがあるという教えは、古来、日本ロータリーの精神伝統の一つになっているのであります。

ロータリー文庫より

日本ロータリーの精神伝統 その1 伊丹RC 深川純一様の記事を抜粋